

コロナ禍の先、 さらなる少子高齢・人口減を見据え 安心できる社会を長期的に展望

著者略歴

川村 匡由(かわむら まさよし)

*川村匡由のホームページ(<http://www.kawamura0515.sakura.ne.jp>)

1969年、立命館大学文学部卒、1999年、早稲田大学大学院人間科学研究科博士学位取得、博士(人間科学)。行政書士有資格者。

現在:武蔵野大学名誉教授(社会保障・地域福祉・防災福祉)、シニア社会学会、世田谷区社会福祉事業団各理事、福祉デザイン研究所所長、地域サロン「ぷらっと」主宰。山岳紀行家(元日本山岳会員)。

主著:『入門 社会保障(編著)』『入門 地域福祉と包括的支援体制(同)』『入門 社会福祉の原理と政策(同)』以上、ミネルヴァ書房、『改訂 社会保障(編著)』建帛社、『地域福祉とソーシャルガバナンス』中央法規出版、『防災福祉のまちづくり』水曜社ほか。



もくじ

- 第1章 “衣”から“医”へ
- 第2章 もう一つの“移”
- 第3章 “食”から“職”へ
- 第4章 変わらぬ“住”
- 終章 “真の新しい生活様式”のためのポイント

「はじめに」より(抜粋)

アフター・コロナを見据えればその収束はもとより、従来の「生活三要素」のうち、“衣”は受診・入院・治療・療養・介護からなる“医”、すなわち、医療および高齢者や障害者など一般国民のアクセス権の移動、すなわち“移”、また“食”は“職”、すなわち、職業の安定、さらに“住”、すなわち、住宅は戦後、一貫として持ち家制度という名の国民の自助から政府の公的責任としての公助により生活環境も重視した「新・生活三要素」からなる“真の新しい生活様式”とし、すべての団塊世代が75歳以上となる2025年、さらに本格的な少子高齢社会および人口減少を迎える2065年を見据えたニュー・ライフスタイルをめざすべきではないか。

そこで、社会保障学者として「医(移)・職・住」からなる「新・生活三要素」を評価指標とし、だれもが「人生100年」を不安なく全うできるよう“真の新しい生活様式”を提起し、緊急提言したのが拙著である。



「ウイズ・コロナ」にかこつけた公的責任を問わない
「新しい生活様式」に
異議あり!!

「衣食住」から「医(移)・職・住」へ、
“真の新しい生活様式”を緊急提言。

川村 匡由

定価 1540円
あけび書房

定価 1540円 (本体 1400円+税 10%)

2022年8月発売 46判 156頁
ISBN978-4-87154-215-9 C3036

あけび書房 TEL:03-5888-4142
FAX:03-5888-4448

〒120-0015 東京都足立区足立1-10-9-703
<https://akebishobo.com/> Mail:info@akebishobo.com



----- キリトリ線 ✂ -----
ご記入の上、最寄りの書店、あるいはあけび書房へご注文下さい。

注文書

書店印・取扱先

人生100年時代のニュー・ライフスタイル () 冊 注文

その他・備考

氏名・団体名

ご担当者
氏名

送り先 〒 () - ()

電話番号 ()

取次帖合: 日販・トーハン・楽天ブックスネットワーク・中央社・大学図書
日教販・全官報・新日本図書・鎌谷書店・JRC

発行: あけび書房 TEL.03-5888-4142 FAX.03-5888-4448